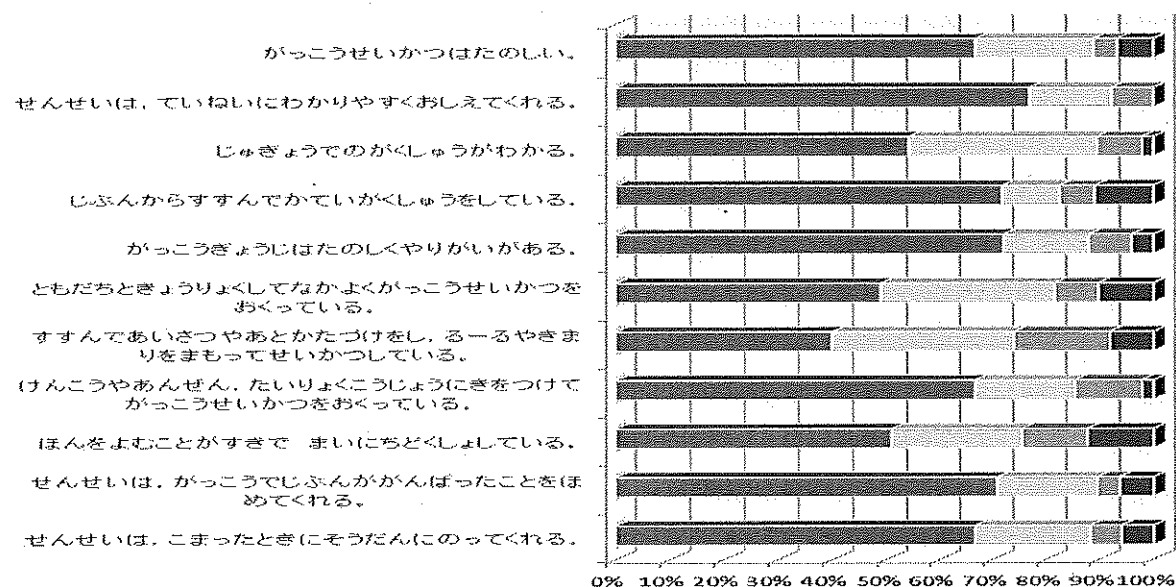


本年度前期の本校教育活動を振り返り、今後の教育活動の更なる向上のために実施いたしました「平成30年度第1回学校評価アンケート」の集計が終了いたしましたので、考察を加えてお知らせいたします。

全体の回答の様子をグラフでご覧ください。

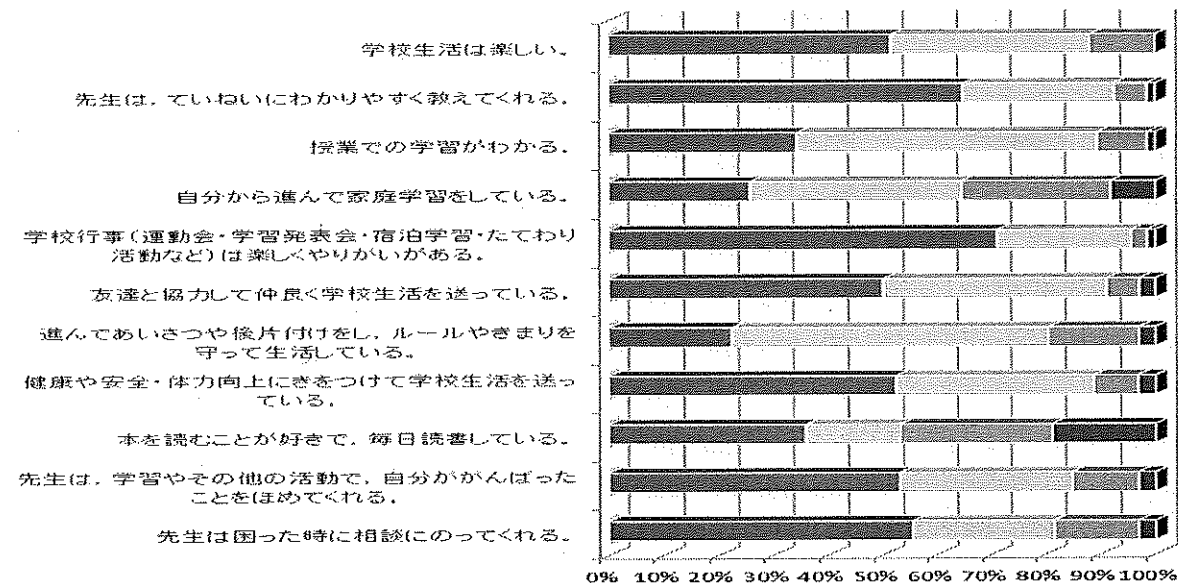
低学年(前期)

■ そう思う ■ 大体そう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



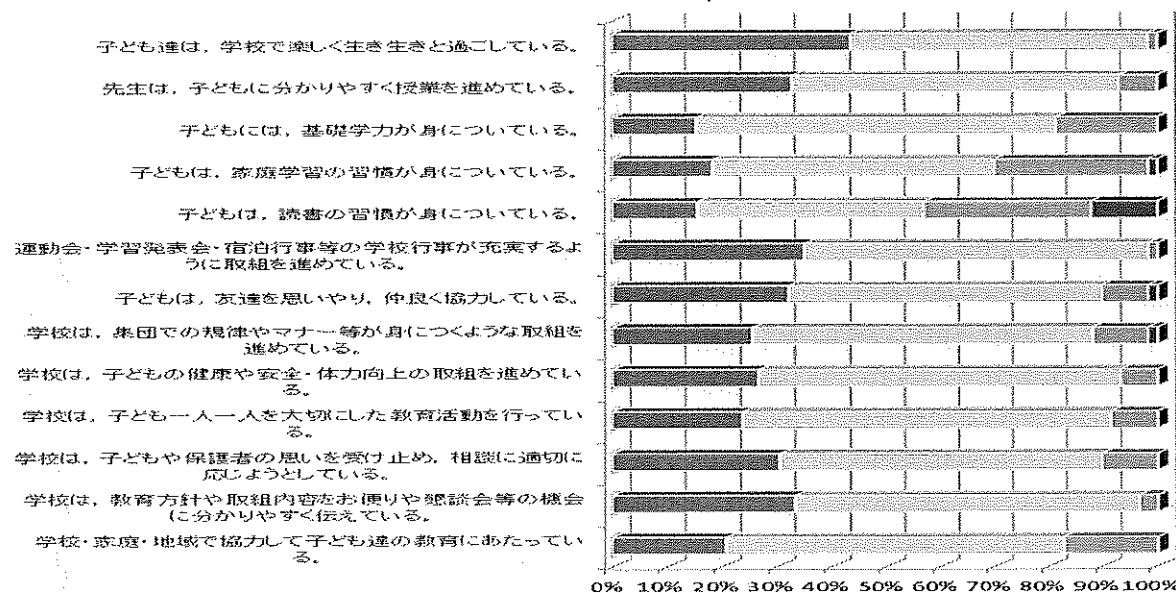
高学年(前期)

■ そう思う ■ 大体そう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



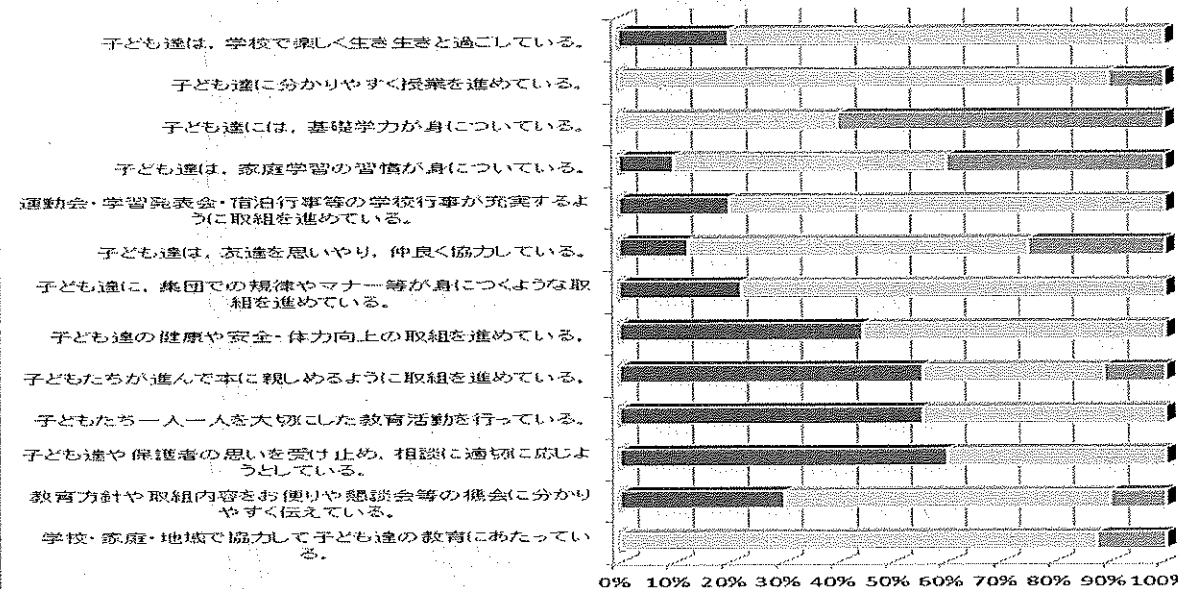
保護者(前期)

■ そう思う ■ 大体そう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



教職員(前期)

■ そう思う ■ 大体そう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



表面では回答の概要をご覧いただきました。

裏面では集計した回答をもとに、考察を加えた項目や保護者や地域の皆様からいただいたご意見をお伝えします。

学ぶ力について

【学校は楽しい】

9割近い児童が「「そうである」と回答してくれています。明日の登校を待ち望んでくれる石田小学校であることに喜びを感じます。

しかし、低学年（1～3年生）の児童の6.7%の児童が「「そう思わない」と回答してします。なぜそういう思いになっているのか、個別に話を聞いて丁寧に対応していく必要があります。

【先生はていねいにわかりやすく教えてくれる】

9割を超える児童が「「そうである」と回答しています。また、保護者の方も9割を超えて「「そうである」と感じていただいています。教える側の教職員も9割が「分かりやすく教えている」と思っています。

【授業での学習がわかる】

9割の児童が「「そうである」と回答しています。しかし、「「そう思う」の低学年が54.2%であるのに対して、高学年は34.3%になり、学年が上がるにつれて「「そう思う」から「「大体そう思う」に移行している様子」がうかがえます。また、保護者の方も「「あまりそう思わない」が18.6%、教職員にいたっては6割がそう感じており、楽しく授業はできているが、学習したことが身につけていない現状であることがわかります。どうすれば基礎学力が定着するのか、一つ一つの取組を見直し改善していく必要があります。

【自分から進んで家庭学習をしている】

低学年児童が8割を超える児童が「「そうである」と回答しているのに対して、高学年児童は64.5%び減少しています。学年

が上がると忙しくなり、帰ってからの時間を作るのが難しくなっているのか、嫌々宿題をしているのか、理由もいろいろあると思いますが、家庭学習の時間は学年×15分を目標としています。学校からの課題だけでなく、自分で計画を立てて学習に取り組めるようにしていかなければなりません。学校では宿題で学んだことを、次の日の授業で活用するなどの新たな取組を進めていければと考えています。いろいろな方法を取り入れることで、家庭学習することに意味づけをしていければと思っています。

【本を読むことが好きで毎日読書している】

低学年が75.5%、高学年が53.1%の児童が「「そうである」と回答しています。高学年になるとその割合が大きく減っていることがわかります。また「「そう思わない」と回答している児童が低学年12.2%、高学年18.8%もいます。保護者の方も12.1%の方が子どもに読書習慣は「ついていない」と感じておられます。昨年度、学校では様々な取組をすることでほとんどの児童が100冊読書を達成できましたが、読んだという現状と読みたいという意欲には大きく隔たりがあることがわかります。本当の意味での本を読む楽しさを感じ取れるような取組を考えていきたいです。

生きる力について

【学校の行事は楽しくてやりがいがある】

低学年が88%、高学年は95.6%の児童が「「そうである」と回答しています。昨年度に引き続き、今年度もたて割り活動を充実させています。毎週火曜日を「サファリデー」という名で、昼休み・掃除時間・帯時間を活用して話し合いや遊び、清掃活動に取り組んでいます。そのほとんどを高学年児童が中心に進めてくれています。大変な中にもやりがいや楽しさを感じてくれていることが分かります。

【友達と協力して仲良く学校生活を送っている】

低学年は8割、高学年は9割の児童が「「そうだ」と回答しています。学校での様子を見ていても、高学年の子ども達が休み時間にもめたり喧嘩したりしているという場面はほとんど見られませ

んが、低学年はあちらこちらで言い争いになっています。自分の思いを抑えて、友だちのことを考えて行動することがまだまだ難しい様子も見られます。自分の要求ばかりを押し通そうとするのではなく、思いやりの心をもって過ごすことができるようになってほしいと願っています。

【進んであいさつや後片付けをし、

ルールやきまりを守って生活している】

本校での一番の課題がここに見られます。そうでないと回答している児童が低学年は26%、高学年が19.4%もいます。人数にすると30人近い児童がルールやきまりを守らずに過ごしていることとなります。この現状をしっかりと受け止めて、ルールやきまりを守ったら気持ちよく過ごせることが実感できたり、人が破っていても自分は守るんだという強い意志をもつことの大切さを考えたりする取組を考えていきたいです。

【健康や安全・体力向上に気をつけて学校生活を送っている】

9割近い児童が「「そうである」と回答しています。学校ではジャンプアップ（体力向上を目指した取組）を昨年度に引き続き進めています。今年度は、様々な運動遊びに取り組んで自分の記録に挑戦するという内容も新たに取り入れました。そのことにより、自分の体力に関心をもつ児童が多くなってきているように感じます。

しかし、「早寝、早起き、朝ごはん」については課題が多く、遅刻が目立つ児童や朝ごはんを食べずに登校し、しんどくなってしまう児童がいるのが現状です。決まった時間に寝て起きて朝ごはんを食べて登校させるということは、ご家庭の責任です。子ども達が気持ちよく学校生活を送れるようによろしく願います。

子どもを共に育む
京都市民憲章



京都はぐくみ憲章
社会のあらゆる場で実践し、
行動の輪を広げましょう！

その他

【学校は一人一人を大切にした教育活動を行っている】

【学校は、子どもや保護者の思いを受け止め、相談に適切に応じようとしている】

この2つの項目に関して、保護者の方の1割が「そう思わない」と感じておられます。どのような点からそう思われたのか、教職員一同でしっかりと現状を受け止め、丁寧な対応をしていきたいと考えています。

～自由記述より～

保護者の声

★学校内に学童を作してほしい。

>>石田小学校内には学童はありませんが、地域には「桜木児童いきいきクラブ」というものがあります。全市的に見てこの醍醐地域にはいくつか学童がありますので、今のところは増えない見込みです。もっとお尋ねになりたい時は「醍醐支所子ども若者はぐくみ局（746-7610）」にお願いします。

学校では子ども達の安全安心な居場所作りということで、「放課後まなび教室」という取組をしています。授業終了後、宿題をしたり工作をしたりして過ごしています。

★子どもが学校での事をあまり話さないの、宿題を毎日見えますが、貼ってある付箋をどうすればよいのかなどの学校でのルールがわからず・・・解決策が見つかりません。

>>学校での取組を丁寧に伝えていきたいと思っています。

また、その都度わからないことや疑問に思われることがあれば遠慮せずに担任に聞いてください。丁寧に対応していきたいと思っています。

★学年が上がり、授業内容も増え、算数等も難しくなってきました。親が小学生のころに教わった計算の仕方と、今学校で教わ

る方法が違らしく、家庭で教えるのもなかなか大変で、ついケンカになってしまいます。出来れば授業参観を算数の時間にしてほしいです。どのように先生が教えているのか知りたいです。

>>このご意見は多くの方が共感しておられるのではないのでしょうか。「昔の方法と今の方法が違うねん。」とたくさんの方から聞きます。子ども達は、先生から聞いた方法と違うことはなかなか受け入れられず、どのご家庭でも困っておられるようです。

どんな方法で教えているのか、直接担任に聞いていただいてもいいですし、教科書通りに指導していますので教科書を参考にしてみてください。

授業参観についてはいろいろな教科を観ていただけるように工夫しています。算数も1年に1度は観ていただけるようにしていきます。

★地震時のメールが遅く、メール内容が非常にわかりにくく、迎えに行くのか集団下校なのか困った。他のメールに関しても学校へ登校してから連絡がくるなど対応が遅い。

>>この件に関しては他の保護者の方からもいろいろな形で、多数ご意見をいただいております。

今後、迅速な対応と分かりやすい伝達内容を目指してメール配信をしていきたいと思っています。

★少人数児童ならではの取組等いつもありがとうございます。運動会で学年別だけでなく、全校児童によるランダムリレー、もしくは各学年から代表を選んだ等のリレーがぜひ見てみたいです。

>>児童数が減少し、従来と同じ取組を進めていくことが難しくなってきました。運動会の種目も工夫して取り組まなければなりません。今回いただいたご意見も参考にさせていただいて、次年度以降の種目について検討していきます。

★単級によるメリットとデメリットはあると思いますが、先生方みなさん一人一人が子どものことをよくみていただいていると日々感じます。

ただ、PTAの活動については少ししんどくなっているかもしれません。

>>確かに、一番人数が少ない学年では2年に一度ぐらいの頻度で、PTAの役員として活動していただく状況になっています。

それぞれご家庭のご都合がある中、学校のために活動していただいておりますが、活動内容や選出方法などいろいろな面で改善していくことも大切ですね。

PTA本部の方とも協議していきたいと思っています。

★子ども達が楽しく学校に行けているだけで大変満足しております。勉強も大事だと思いますが楽しく過ごせているので良い学校です。

★先生との信頼関係が築けているところがとても良いと思っています。

～地域の方（学校運営協議会の方）のお声～

- ・学校に通っている子どもも孫もいませんが、協力できることがあればさせていただきます。
- ・地域と学校の交流が少なく子ども達の様子がよくわかりません。
- ・子ども達と接する機会が多くなってきたことで、子ども達から声をかけられてうれしいです。
- ・子ども達の安全で安心のためにできることがあれば伝えてほしい。

お忙しい中、学校評価アンケートに貴重なご意見をいただきありがとうございます。今回いただいたご意見を真摯に受け止め、教職員一同精一杯努力してまいります。